

茂位菁邨書道文化交流プロジェクト
INミャンマー
開催報告書

2026年2月25日～3月1日

主催 ヤンゴン日本人学校
ヤンゴン日本人学校PTA



開催概要

- 【名称】 茂住菁邨書道文化交流プロジェクトinミャンマー
- 【日程】 2026年2月25日（水）～3月1日（日）
2月25日（水） MAJA向けイベント(45名参加)
日本人学校幼稚部向けイベント（6名参加）
2月26日（木） 日本人学校向けイベント（64名参加）
2月28日（土） 送出し機関・日本語学校向けイベント（25名参加）
3月 1日（日） 日本人会向けイベント（AM）（28名参加）
スポンサー向けイベント（PM）（17名参加）
- 【会場】 ヤンゴン日本人学校及びサクラタワー20階「THE SKY HALL」
- 【主催】 ヤンゴン日本人学校/ヤンゴン日本人学校PTA
- 【協賛】 ダイヤモンドレンタルミャンマー、ES4Eグループ、キンキン株式会社、三菱商事、三菱UFJ銀行、ナイスミャンマートラベルズ&ツアーズ、ワン アジア ロイヤーズ、ヤンゴン日本人会、グロース ミャンマー、ポールスターホールディングス、ジャパンアウトソーシングサービス、丸紅、ミャンマーDCR
- 【後援】 在ミャンマー日本国大使館

企画の趣旨

ミャンマーで暮らす子どもたちには、かけがえのない国際的な経験があります。一方で、制限された社会環境の中では「本物に触れる機会」がどうしても不足しがちです。日本であれば、博物館・施設見学・芸術家との出会いなどを通して、子どもたちは「生きた学び」を体験することができま。しかし、今のミャンマーではそれが難しく、教科書や映像だけでは伝わらない“感動”に出会うことが困難です。しかしながら、その「本物との出会い」こそが、子どもたちの感性と人格を育む原点だと信じています。

そこで、日本を代表する書家であり、「令和」の元号を揮毫された茂住菁邨氏をミャンマーにお招きし、ミャンマーに住む子どもたちや多くの大人たちが“本物の書”に触れる機会を創出しようと考えました。

本プロジェクトがもたらす価値

- 子どもたちに「一生の記憶に残る体験」を。
- 日本文化への誇りと理解を深める場に。
- 日本とミャンマーを結ぶ文化の架け橋として。

今だからこそ、“リアルな出会い”が人の心を動かします。

デジタルでは伝えきれない、筆の重み、墨の香り、書の力。

そのすべてを体験してこそ、文化は生きたものとして心に刻まれると信じています。

茂住 菁邨氏

(もずみ せいそん)



本名：茂住 修身（もずみ おさみ）
昭和55年 大東文化大学 経済学部卒業
元内閣府大臣官房人事課辞令専門官（「令和」の揮毫者）

主な実績：

新元号「令和」の揮毫

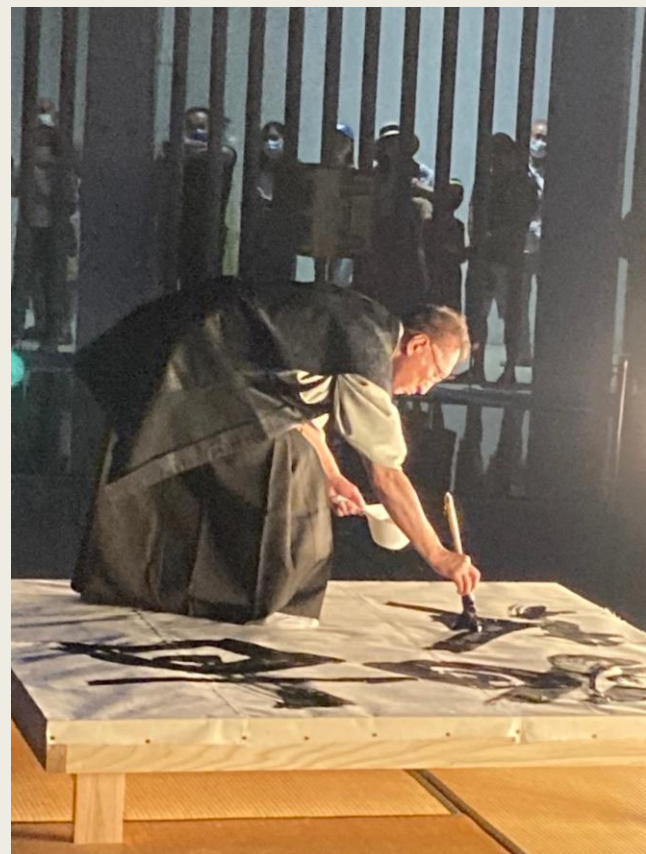
歴代首相・大臣などの辞令書 揮毫

国民栄誉賞の題字（羽生結弦、吉田沙保里、長嶋茂雄など）

官公庁の看板、学校・市町村への書作品寄贈

令和の書家「茂住 菁邨」オフィシャルサイト

<https://mozumi-season.com/>



協賛企業へのリターン実績

- スポンサーバナーの掲載
 - ・会場サイドロングバナー4点
 - ・スタンドバナー2点
 - ・集合写真用バナー1点
 - ・バックドロップ1点
- 各イベントにてスポンサー名の読み上げ
- スポンサーイベント向けイベントへのご招待
- 懇親会への参加権利付与（有料）
- 茂住氏揮毫の「書」作品の進呈
- オリジナルポストカード&クリアファイル進呈
- オリジナルTシャツ進呈



2月25日(水)MAJA向けイベント



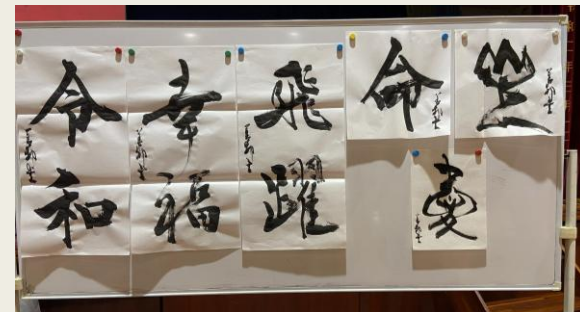
2月25日(水)ヤンゴン日本人学校幼稚部向けイベント



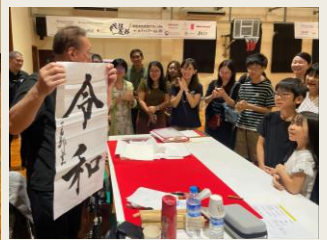
2月26日(木)ヤンゴン日本人学校向けイベント



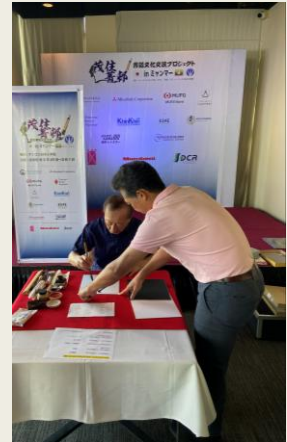
2月28日(土)送り出し機関・日本語学校向けイベント



3月1日(日)AM 日本人会向けイベント



3月1日(日)PM スポンサー向けイベント



Calligraphy Cultural Exchange Project

Linking

Japan and Myanmar

2026年3月5日 スカイネットTV
「MNTV」「Channel 9」で放映



ご協賛企業様

Goldスポンサー様

- ダイヤモンドレンタルミャンマー
- E S 4 Eグループ
- キンキン株式会社
- 三菱商事
- 三菱UFJ銀行
- ナイスミャンマーラベルズ&ツアーズ
- ワン アジア ロイヤーズ
- ヤンゴン日本人会

Silverスポンサー様

- グローブ ミャンマー
- ポールスターホールディングス

Bronzeスポンサー様

- ジャパン アウトソーシング サービス
- 丸紅
- ミャンマー DCR

※敬称略

その他、匿名で企業様・個人様からもご協賛を頂きました。ありがとうございました。

ご協力を賜りましたスポンサー様へ

この度は多数の企業様に多大なるご協力を賜りまして、心より御礼を申し上げます。

直接、講演会や書道講座にご参加頂けました方々には、今の自分が出来ます事を精一杯、お伝えしたつもりです。

また、出来る限りの返礼品、更には書を揮毫させて貰いました。

初めてのイベント企画でございまして、ご満足頂けたか不安ですが、ご寛容ご寛大にご判断をお願い申し上げます。

心より御礼を申し上げます。

ありがとうございました。



浅位著邨

終わりに

本イベントの実施は、3年越しの私の夢でありました。

茂住氏を招へいしてイベントを実施すれば、間違いなく日本文化の素晴らしさをミャンマーに伝えることができると確信していました。実際にイベントを実施させて頂き、やはり、想像どおり日緬の懸け橋になったと実感しております。

ただ、本イベントは私の力だけではなんともできないものでした。そんな中、多くの企業、個人様がスポンサーとなってくださり、多大なるご支援を頂いたことで実施することができました。本イベントが大成功に終わったのは、まぎれもなく皆様のおかげでございませう。本当にありがとうございました。

茂住菁郵書道文化交流プロジェクトinミャンマー

事務局 乾 貴之